

解 答 速 報

関西医科大学(前期) 英語

2020年 1月25日実施

I	1	①	O	②	X	③	O	④	X
		⑤	X	⑥	O	⑦	O		
	2	sad		angry		fearful			
	3	エ	4	Chad		5	the Central African Republic		
	6	with							

II	1	when									
	2	(2)	ウ	(3)	イ	(7)	ア	(9)	オ	(10)	エ
	3	[4]	I		[5]	stems					
	4	but		5	compared						

III	1	(1)	ウ	(4)	ア	(11)	エ	(12)	イ	
	2	(2)	what		(5)	either		(10)	without	
	3	beats per minute								
	4	telling		5	イ					
	6	かかりつけ医・主治医								

<解説>

I

1 [内容一致・不一致問題] 「本文に従い、以下の文が正しければ“O”を、間違っていれば“X”の文字をそれぞれ自分の解答用紙に記入せよ」

- (1) O 「ギャラップ社の研究によれば、世界の人々は2018年に劣らず2017年も悲惨な状態であった」
 第4段落第1文に「世界の人々は2017年とちょうど同じくらい悲惨な状態のままであった」とあるので、この文内容は正しい。
- (2) X 「ギャラップ社の研究によれば、ラテンアメリカの国々はニジェール・シエラレオネ・イラクよりも悲観的であった」
 第5段落及び第6段落から最も悲観的な国はチャドであり、ニジェール・シエラレオネ・イラクがそれに次ぐ一方で、ラテンアメリカの国々は楽観的な側で上位を占めるとわかるので、この文内容は誤りである。

- (3) ○「ギャラップ社の2018年の研究によれば、不安・ストレス・体の痛み・悲しみ・怒りの中で、不安を感じる人の数が他の感情を感じる人よりも多かった」
第8段落からおおよそ、不安は40%、ストレスは33%、体の痛みは30%、悲しみは25%、怒りは22%の人が感じているとわかるので、この文内容は正しい。
- (4) X「ギャラップ社の研究によれば、世界で最も幸福で楽観的な国々には貧困や暴力は存在しなかった」
第16段落第1文に最も幸福で楽観的な国としてパラグアイが挙げられており、第2文にて僅差でパナマ・グアテマラ・メキシコ・エルサルバドル・ホンジュラスが続くとされるが、これらの国々は「貧困と暴力の度合いは高い」とあるので、この文内容は誤りである。
- (5) X「ラテンアメリカの国々で、人生の明るい面をいつも見るべきだという考えは、その国々の文化の中で純粋に宗教上の理由で根付いている」
第18段落に「人生の良い側面に焦点を当てるその地域の文化的傾向」とはあるが、宗教に関する言及はないので、この文内容は誤りである。
- (6) ○「国連は世界幸福度報告を作成する際、ギャラップ社と異なる手法をとった」
明言されている文はないが、第20段落第2文で「ギャラップ社の面接形式の手法」とわざわざ言及していることから推測し、この文内容は正しい。
- (7) ○「ギャラップ社の研究によれば、世界中の人々は同じように不幸せの度合いが強まっているわけではなく、楽観的に感じている人々の数もまた多い。これにより、世界中で感情面での不平等は拡大していることが示された」
第21段落に、「その報告の中で、各マイナスの感情を世界全体で合計すると最高値を記録したが、それはまた2013年、2014年、2015年に見られたプラスの感情の記録的水準と同程度でもあった。これにより、世界中で人々の感情面での不平等は大きくなっていることが示唆される」とあるので、この文内容は正しい。

2 [指示内容] 「下線部(1)の語句の指す3つの感情は何か。英語の主格の形で答えよ」

第2段落第1文に“~ are sadder, angrier and more fearful than ever before, ~”とある。よって答えは、sad, angry, fearful となる。“in a nominative form”で何を意図したのかは不明だが、恐らく本文中では比較級で登場している形容詞を原級で答えさせるという意味だと思われる。もしくは名詞形で答えさせるという意味かもしれない。その場合、解答はsadness, anger, fearとなる。

3 [空所補充問題] 「空所(2)と(3)に入れるべき単語の組み合わせとして正しいものを、選択肢から選び、ア、イ、ウ、エの文字で答えよ」

第3段落では「これら3つの感情全て」が記録的水準に達したと述べられ、続く第4段落が“On the bright side”で始まり、負の感情が減少することが想定できる。したがって(2)には、declineを入れる。次に第5段落では“~, Chad took the (3) honor of being the world's most negative country.”とあり、チャドが世界で最も負の感情の強い国の座についたことが述べられている。これをhonor「名誉」とは言い難いことは想定できるので、(2)にはunwelcomeを入れる。選択肢としてはエが正解となる。

4 [同義表現抜き出し] 「下線部(4)の表現に置き換えて用いることのできる、最も適切な語を本文中から抜き出せ」

第9段落第1文を確認する。“Chad's economy has been in a deep recession since a 2014 fall in oil prices, and living standards continue to fall in the central African nation; ~”この部分の訳は「チャドの経済は2014年の原油価格の下落以来、深刻な不況にあり、その中央アフリカの国家では生活水準が低下し続けている」となる。この国家がチャド以外を指すのは不自然であることから、これはChadを言い換えたものとわかる。

5 [語句抜き出し] 「ギャラップの調査によれば、2017年に最も負の感情の強かった国はどこか。英語で答えよ」

第13段落で、The Central African Republic, which led the misery index in 2017, was not surveyed in the latest report. とあることから、the Central African Republic が最も負の感情の強かった国とわかる。動詞leadに

は「一番である，第一位である」という用法がある。

4 [空所補充] 「空所(5), (6), (7)に同じ英単語を入れよ」

空所(5) : “~, while 87% said they were treated (5) respect.” [第 15 段落]

空所(6) : “Scandinavian countries usually top lists of ~, (6) four — Finland, Denmark, Norway and Iceland — coming out in front this year in the United Nation’s World Happiness Report. [第 20 段落第 1 文]

空所(7) : “~ it also tied (7) 2013, 2014 and 2015 for record levels of positivity — ~.” [最終段落]

決め手となるところは(5)もしくは(6)であろう。with respect で「敬意をもって」という意味。また空所(6)であれば，付帯状況ということが予想できる。

II

1 [空所補充] 「空所(1)に ‘W’ から始まる最も適切な語を入れよ」

“Back in October (1) I decided that my lifestyle was untenable, I changed my physical activity habits.”

「さかのぼること 10 月に，自らの生活スタイルが弁明できないものだと判断し，私は運動習慣を変えた。」

解答は，“when”

2 [空所補充] 「空所(2), (3), (7), (9), (10)に当てはまる最も適切な語を，以下の選択肢 A ~ O から選べ。なお同じ語を 2 回以上使ってはならない」

(2) “~ but I was tenacious and instead of getting faster, I simply ran (2).”

「しかし私は辛抱強かったので，より速く走るのではなく，たださらに長く走った」

解答は，“ウ : longer”

(3) “A strange thing began to happen as I kept losing weight. I started getting (3) without extra effort.”

「体重が減っていくにつれて奇妙なことが起こった。私は余計な努力をせずともより速く走るようになった」

解答は，“イ : faster”

(7) “Eating (7) and working out more while knowing the quantity and quality of both were the plan.”

「双方の量と質が計画通りであることを認識しながら，より良い食事をしてより多く運動をすること」

解答は，“ア : better”

(9)(10) “I also look and feel (9), have (10) energy, have a new wardrobe:”

「私はまた見た目も気持ちも若返り，元気になり，新しい服を手に入れた。」

解答は，(9) “オ : younger”，(10) “エ : more”

3 [文中語句整序] 「カッコ[4]と[5]内の語および語句を並べ替えて正しい英文を作れ。なお文頭の文字も大文字表記されていない。以下の * に来る語または語句を解答欄に書け」

4 : [it / ever / fun / had / have / I / not / the most / was]; however, I managed a mile in 7 minutes and 53 seconds.

主節内に the most を想定し，最上級を範囲限定する従属節を伴うと考える。なお，セミコロン以下に “however, I managed to a mile in 7 minutes and 53 seconds” とあるので，これに先立つ譲歩的内容を想定することも正解を導く助けとなる。

解答は，“It was not the most fun I have ever had; however ~”

5 : A big part of my weight loss and [by / from / health / improved / physical / stems] owning my own condition.

動詞は stems。weight loss と improved physical health が and でつながると考える。stems from ~ で「～から生じる，～に起因する」。二重前置詞となるが，stems from by owning ~ とすると，「～を支配することにより生じる，～を支配することに起因する」となる。

解答は，“A big part of my weight loss and improved physical health stems from by owning my own condition.”

4 [空所補充] 「空所(6) および(8)に, 'b' から始まる同じ英単語を入れよ」

“I had no one to blame for my lack of health (6) myself.”

「私は健康でないことを自分以外の誰のせいにもできなかった」

“There is no one to blame (6) yourself.”

「あなた以外には責任を負うべき人はいない」

解答は, “but”

5 [活用変化] 「空所(11)の動詞を適切な活用形にせよ」

I sometimes do not recognize my own clothes because they are so small (11 : compare) to the previous set.

「時折私は自分の衣服がわからなくなる。なぜなら以前に比べて小さすぎるからだ」

解答は, “compared”

III

1 [空所補充] 「空所(1), (4), (11), (12)に入れるのに最も適切な語を下の選択肢から選び, アからエで答えよ。なお文頭の文字も大文字表記されていない。番号は繰り返し使用されることもある。同じ語を2回以上使ってはならない」

(1) Dr. Cooper then manually counted my resting heart rate

「クーパー医師は手で私の安静時心拍数を測った」

(4) which is basically just walking and running on a treadmill for about 20 minutes.

「それはただ, 基本的にはおおよそ20分間ランニング・マシーンで歩き, 走るのに過ぎなかった」

(11) I would probably still be undiagnosed and suffering had I not gone to that routine checkup with Dr. Cooper.

「もしクーパー医師の定期健康診断へ行っていなければ, 私は恐らくは未だに診断されず, 苦しんでいるだろう」

(12) I so desperately needed

「私がこんなにも必死になって欲していた」

2 [空所補充] 「空所(2), (5), (10)に, 最も適切な語を入れて各文を完成させよ。番号は繰り返し使用されこともある」

(2) my heart was doing what yours would do after running 5 miles.

「私の心臓は普通の人々の心臓が5マイル走った後に出す数値を出していた」

we'll get you on the treadmill anyway and see what happens.

「とにかく私達はあなたをランニング・マシーンに乗せて, どうなるかを調べてみます」

(5) The nurses told me I'd be on the treadmill for either 20 minutes or until my heart rate reached 120 bpm.

「看護師達は私に20分間もしくは心拍数が120 bpmに達するまでランニング・マシーンに乗るように言った」

I'd never heard of, and you probably haven't either.

「私は聞いたことがなかったし, おそらくあなたもないであろう」

(10) Everything you do without thinking about it, ~

「あなたが考えずに行っているあらゆること」

3 [指示内容] 「下線部(6)のイニシャルリズムの表すものは何か。英語で答えよ」

第2段落第3文にある通り, bpm は beats per minute 「分あたりの心拍数」の頭文字を合成した語である。

4 [活用変化] 「空所(7)の動詞を適切な活用形にせよ」

I kind of laughed because as they were checking my vitals and telling me this, they realized my heart rate was already at 120 just sitting there.

「私がちょっとおかしく思ったのは, 看護師が私のバイタルを確認し, 私にそれを伝えながら, 私の心拍数がただそこに座っているだけですでに120になっているのに気づいたからだった」

5 [空所補充] 「空所(8), (9)に記入するのに適切な語の組み合わせを, 下記の選択肢から選び, イ, ウ, エの文字で答えよ」
同段落第 1 文に “It’s ~ and the classic symptom of it is the heart rate immediately rising ~ and blood pressure dropping as well.” とあることが解答の根拠となる。

6 [部分和訳] 「下線部(3)の語句を和訳せよ」
primary doctor で「かかりつけ医, 主治医」という意味である。

講評

- I [長文] (標準) 「世界の国々の幸福度」に関する英文。分量は少なく, 例年よりも内容一致問題は取り組み易い。出題形式も例年通り。
- II [長文] (標準) 「健康であるための方法」に関する英文。受験生にとって取り組み易い内容。出題形式も例年通り。
- III [長文] (標準) 「POTS(体位性頻脈症候群)患者が語る定期健診の重要性」に関する英文。語数は 2019 年度の大問 V に匹敵するが, 内容は平易で, 出題形式も例年通り。

大問数が昨年度の 5 題から 2 題減り, 3 題すべてが関西医科大学らしい長文問題となった。全体の分量も昨年度より減り, 素直な出題が多く易くなった。目標は 65%

メルマガ無料登録で全教科配信! 本解答速報の内容に関するお問合せはメビオ ☎0120-146-156 まで

☎ 03-3370-0410

受付時間 8~20時 土日祝可
<https://yms.ne.jp/>
 東京都渋谷区代々木 1-37-14



☎ 0120-146-156

携帯からOK 受付時間 9~21時 土日祝可
<https://www.mebio.co.jp/>
 大阪府中央区石町2-3-12ベルヴォア天満橋